

ご利用案内

■開館時間

10:00～17:00

■休館日

火曜日（休日の場合、その翌平日）

詳しくは、お問合せください。開館対応させていただくケースがございます。

■料金

※団体料金は15名様以上

入館料	区分	個人	団体※
	大人	500円	400円
	大・高校生	300円	200円
	中・小学生	200円	100円

■ご利用いただける観光券

全旅 | 大阪府旅行業組合 | 兵庫県旅行業組合 (2009年12月現在)

■駐車場

無料（普通車約150台を収容）

■館内施設

- ・300インチハイビジョン映像システム

（常設の映像ソフト上映だけでなく、パソコンや他AV機器の接続も可能で、展示説明や総合学習での活用など多用途に使用されています。）

- ・車椅子 2台
- ・コインロッカー（100円コイン返還式）
- ・身障者用トイレ
- ・自動販売機
- ・おむつシート
- ・椅子型簡易昇降機

■その他

- ・館内のご観覧平均時間は、（13分間の映像含む）約45分から1時間です。
- ・300インチの大画面スクリーンを利用した展示品解説や、館内のご案内等もよろこんで承ります。ご利用日時をご連絡頂いた上、事前にご指示下さい。
- ・映像室内の最大収容数は100名様です。
- ・当館は、兵庫県の「走る県民教室」の対象施設です。

バスガイドさんのための
高田屋嘉兵衛講座
たかたやかへえ



高田屋顕彰館・歴史文化資料館〔菜の花ホール〕

〒656-1301 兵庫県洲本市五色町都志1087 高田屋嘉兵衛公園内

TEL 0799-33-0354 FAX 0799-33-1605

E-Mail: nanohana @ takataya.jp

<http://www.takataya.jp/nanohana/nanohana.htm>

<http://www.facebook.com/TakatayaKenshokan>

2015年10月



ミニ知識

●「高田屋嘉兵衛公園」ができたわけ

私達の高田屋嘉兵衛公園は、公園内に眠る嘉兵衛のお墓と、船乗りとして彼の出发点となった都志の港を結ぶラインにその記念公園をつくろうという計画の元に用地を整備し、公共の宿、ログハウス、キャンプ場、嘉兵衛の資料館、温泉、屋内ドーム、体験工房、洋ランセンターなど多彩な施設の中で、皆様のご利用をいただいております。

ちなみに、公園のもう一つの名である「ウェルネスパーク五色」の「ウェルネス」は健康であろう、健康になろうとする積極的な意思をあらわす言葉です。

●「菜の花ホール」という名前の由来

高田屋顕彰館のもうひとつの名称「菜の花ホール」は、作家司馬遼太郎さんが嘉兵衛を描いた小説「菜の花の沖」にちなんで名付けられました。この小説は、産経新聞の朝刊紙上に連載されましたが、最初、司馬さんが「今度は高田屋嘉兵衛の小説を書く。タイトルは『菜の花の沖』でいく」と話された時、聞いた誰もが「先生、不思議なタイトルですね。どうして菜の花が高田屋嘉兵衛なんですか」と尋ねたそうです。先生、答えて曰く、「今にわかる」
答えは菜の花ホールでどうぞ。

FAQ（よくある質問）

●子孫はいるの？

嘉兵衛は、高田屋の商売を自分の弟の金兵衛に譲りました。高田屋ののれんを守るこの金兵衛の流れを汲む方（8代目）が、東京赤坂にお住まいです。

●テレビでやっていたよね？

・NHK 放送開始 75 周年記念番組「菜の花の沖」（2001 年 1 月—5 回番組）

司馬遼太郎さんの原作を元に、嘉兵衛役に竹中直人さん、奥さんのおふさ役に鶴田真由さんはじめ、豪華キャストで放映されました。淡路島での撮影は、2000 年の 3 月頃に行われましたが、竹中さんは忙しいスケジュールの合間を縫って、公園の嘉兵衛のお墓参りに訪れ、墓前で「番組が終わった時に、嘉兵衛といえば竹中だといわせてみせます」と誓ったそうです。

●あの台詞教えて！

花を咲かせ / 実となり / 実は絞られて油となり / 諸国をめぐるて灯りとなり
網をつくろう手元を照らし / その網で取られた魚が肥料になって / ふるさとへ還る

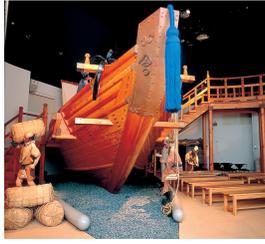
顕彰館の映像の中で、嘉兵衛が自分の人生を語るハイライトシーンに出てきます。

●司馬遼太郎さんにとって嘉兵衛とは？

もしタイムマシンに乗って、江戸時代の誰か一人会わせてくれるというなら、自分は嘉兵衛に会ってみたいとおっしゃっていたほど嘉兵衛の大ファンでした。2 月 12 日の命日は、ご本人が愛した野の花にちなんで、「菜の花忌」と呼ばれています。

●菜の花の見頃は？

2 月中旬頃から 4 月中旬頃まで。NHK 番組の撮影がおこなわれた淡路市の観光地「淡路花さじき」では、5.5ha の山の中腹に、約 100 万本の菜の花が咲き誇ります。



しんえつまる
辰悦丸 1/2 模型
(高田屋顕彰館・映像室内)

嘉兵衛はじめての持ち船、辰悦丸の1/2 模型です。1796年、ちょうど辰年(たつ)にできたので辰が悦ぶ船(よろこぶ)だという名を付けました。

当時の単位で1500石、今の単位でいえば全長30m230トンクラスの船であったと伝えられています。

司馬遼太郎「菜の花の沖」によれば、嘉兵衛は若い頃、地元(あみもと)網元の娘おふさと身分違いの恋をしたがために地元におれなくなり、22歳で島抜けをして兵庫(神戸市)に出て、船乗りとしてのスタートを切りますが、28才でこの船をつくった嘉兵衛が、郷里の港(かいせん)へ凱旋した光景を再現しています。



ペトロパブロフスク
カムチャッキーにおける
高田屋嘉兵衛とピョートル・
リコルド

ロシア船に捕らえられた嘉兵衛が、抑留されたカムチャッカで、事件解決のため、リコルドと机をはさんで交渉を重ねている姿を再現しています。

銅像の台座には、「各国相異なる固有(あい)の習慣を有しているが、真に正しきことはいずれの国においても正しきことと認められる」という言葉が、前面に日本語、背面にはロシア語で刻まれています。

ロシア・サンクトペテルブルグにお住まいの女性の芸術家二人による作品です。

公園が位置する洲本市五色町は、「嘉兵衛のふるさと」としてイメージアップを図ることを目的として、色々な事業に取り組んでいます。



・風力発電

帆いっぱい「風」を受けて、嘉兵衛の船は淡路から北海道沖まで航海しました。約200年の時を経た現在、その「風」は未来の環境を守るため、風力発電に利用されています。

五色町の風力発電は、単機としては国内最大級で、年間300万キロワットの発電があります。これは一般家庭約900世帯分の年間消費電力に相当します。第3セクター「クリーンエネルギー五色」が管理し、つくられた電力は関西電力へ売却されています。



・菜種搾油施設(公園内)

嘉兵衛翁が愛したといわれる菜の花を素材として、洲本市がとりくむ「菜の花エコプロジェクト」の施設です。淡路島で栽培、収穫した菜種を、昔ながらの圧搾製法で搾(しば)ります。無添加の自然食品であるこの「なたね油」で天ぷらを揚げると、衣が菜の花のように色付き、風味豊かな味わいになります

県道 31 号から
この標識を山手側へ



山の中腹のこのマーク（高田屋の商標の山高印）が目印



駐車場手前のこの辺りに
踊り場があります。
バスのご到着・ご発着に
ご利用ください。



高田屋嘉兵衛公園
ウェルネスパーク五色
園内マップ



主な IC、島内観光施設からの所要時間

- 北淡 IC から約 30 分
- 津名一宮 IC から約 25 分
- 西淡三原 IC から約 25 分

- 淡路花さじき -50 分
- 震災記念公園 -35 分
- パルシェ香りの館 -35 分
- 伊弉諾（いざなぎ）神宮 -20 分
- 淡路夢舞台 -50 分
- イングランドの丘 -35 分
- 大鳴門記念館 -50 分

公園内にはこんな見所も



阿久悠 愛と希望の鐘

当地は作詞家阿久悠が幼少時代を過ごした町です。代表作のひとつ「あの鐘を鳴らすのはあなた」にちなんだモニュメントが園内にあります。



阿久悠 瀬戸内少年野球団モニュメント

『瀬戸内少年野球団』は阿久悠の小説を原作とした映画（1984年公開）・テレビドラマ（1994年放映）です。